

世田谷区立砧小学校・砧幼稚園改築事業の見直し検討状況について

1 主旨

世田谷区立砧小学校・砧幼稚園は、令和2年度に実施した設計施工一括発注方式（デザインビルド方式）による事業者選定プロポーザルが不調となったことから、昨年5月の文教常任委員会において報告したとおり、改築整備手法等を見直ししたところ事業費の大幅な増額が見込まれた。

このたび、事業費縮減の検討とともに、「区立幼稚園用途転換等計画の見直しの方向性について」をとりまとめたことから、改築事業計画の検討状況について報告する。

2 改築にあたっての基本的な方針

(1) 施設整備手法

本敷地内の一部が土砂災害特別警戒区域に指定されていることから、改築を契機とした指定解除を目指すとともに、小学校と幼稚園の連携を図るため、当初の整備方針のとおり敷地を有効的に活用し、複合化して改築する。

なお、現時点における概算事業費は、約68.1億円を見込む。（令和3年5月時点 約70億円）

(2) 医療的ケア児の受け入れモデル校

本敷地は、国立成育医療研究センターの近傍に立地する区立小学校・幼稚園であることから、その地域特性を鑑み、医療的ケア児の幼稚園から小学校、新BOP学童クラブまで一貫して受け入れるモデル校として位置付け、必要な機能等の整備を行う。

(3) 施設規模

令和3年7月に補正推計した「世田谷区将来人口推計」においては、区全体の年少人口（0～14歳）は、緩やかな減少傾向が続くが、令和14年（2032年）以降は緩やかな増加傾向となる見込みとなっている。

また、本校に近接する大蔵団地の建て替えが今後、順次進む中、直近の児童推計（令和3年12月）においては、基本構想策定時の将来児童推計と比較して、令和9年度までの児童数の増加が軟化傾向となっている。

そのため、改築する施設規模および概算事業費は、令和4年度5月の児童推計等を踏まえたうえで改めて算定する。

3 今後のスケジュール（予定）

令和4年度 改築基本構想の変更（施設規模、概算事業費）
デザインビルド事業者選定プロポーザル実施

令和5年度 基本設計

令和6年度 実施設計、既存校舎改修工事、幼稚園・プール解体工事

令和7年度以降 擁壁工事、仮設工事、解体工事、改築工事、校庭整備等
（概ね7～8年の期間を想定）